



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第42号 (2014年8月29日)

新評議委員就任のご報告

この度3名の皆さまに評議委員に就任頂きましたのでご報告致します。

皆さまには評議委員への就任を快くお引き受けくださいましたこと改めて御礼申し上げます。

- ・長谷川陽子さん (4月1日付)
- ・菊地知也さん (7月1日付)
- ・尾崎勝吉さん (7月1日付)

評議委員会もフレッシュな皆さまが加わりあわせて14名になりました (1名の増員となります)。

これからは新たな活動領域にもチャレンジしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。(新評議委員の皆さまの就任ご挨拶は8ページをご覧ください。)

チェロサロン11月に開催 長谷川陽子先生を囲んで



2014年11月16日(日)、長谷川陽子先生主宰チェロサロンをサントリーホール・リハーサル室で開催します。今回のテーマは「音の滑舌、良くしよう!」です。皆様、奮ってご参加ください。

長谷川陽子先生 ©武藤章

チェロサロン 概要

日時: 2014年11月16日(日) 14:00開講 (13:30開場)

会場: サントリーホール・リハーサル室

会費: 会員/無料 非会員/1,000円

定員: 30名 (+聴講のみ10名で計40名)

※申込が会員で定員となった場合、非会員の方への募集は致しません。予めご了承ください。

受講曲: クレングル「即興曲」Op.30

ワーグナー「巡礼の合唱」(タンホイザーより)

申込方法: 参加申込書、または同内容をお書き添えの上、FAX、またはE-mailで事務局までお送りください。

締切: クリニック・アンサンブル/10月17日(金)

聴講/11月4日(火)

※申込多数の場合は、会場の都合上、参加をお断りする場合がございます。参加は厳選なる抽選の上、決定させていただきます。

第5回チェロの日開催決定

第5回チェロの日を2015年2月28日(土)~3月1日(日)の日程で開催することが決定しました。今回のチェロの日では、チェロに馴染みが少ない方にも楽しんでいただけるような2日間になるはずですよ。

伸び盛りの若手から実力派の重鎮、そしてチェロ愛好家まで、様々なチェロ奏者が出演するのもチェロの日の魅力、チェロ協会ならではのイベントです。

また、「チェリストの集い」参加者の募集も開始いたします。チェリストの集いでは、参加者で構成するチェロ・オーケストラとして2日目のコンサートに出演頂く他、チェロにまつわるトピックでお届けするラーニングセッションにもご参加頂きます。皆様お誘い合わせの上、お申込下さい。

詳細が決まりましたら、ホームページ等でもご案内致しますのでお楽しみに!

チェリストの集い 概要

日時: 2015年2月28日(土)~3月1日(日)

会場: サントリーホール プルーローズ

参加費: 正会員/16,000円 学生会員/10,000円

定員: 60名程度

演奏曲 エルガー: 朝の歌/モリコーネ: ニュー・シネマ・パラダイス/フォーレ: パヴァーヌ/ヴィラ・ロボス: ブラジル風バッハ第1番

申込方法: 参加申込書を郵送、FAX、E-mailでお送り頂くか、チェロの日特設サイトからお申込ください。

URL: <http://cello.congress.com>

締切: 2014年9月30日(火)

※応募者多数の場合は、厳選なる抽選の上、決定させていただきます。定員に満たなかった時にのみ非会員への募集をいたします。

お勧めのチェロ音楽を募集します

チェロの日初日のコンサートでは、今まで以上に【チェロに詳しくない】方々にもご来場頂き、楽しんで頂けることを目指しています。そこで会員の皆さんに、チェロ音楽に詳しくない方にも「是非聞いて欲しい!」曲をご推薦頂きたいと思っております。小品曲、ソナタ、チェロ・アンサンブル問わず、またクラシック音楽に限らず幅広く募集致します。チェロとチェロ音楽を愛する人々の輪が広がるよう、ぜひ会員の皆様のアイデアをお貸し下さい!

JCS NEWS 第42号 コンテンツ

- 1 評議委員交代のお知らせ/チェロサロン開催のお知らせ
- 2 マスタークラス開催報告
- 3 マスタークラス開催報告
- 4 Cellists' update

- 5 Cellists' update
- 6 コンサート情報
- 7 メンバーズ/総会開催報告
- 8 評議委員就任のご挨拶/事務局からのお知らせ

ルイス・クラレット氏マスタークラス開催報告

2014年4月10日(木) サントリーホール ブルーローズ

2014年4月10日(木)、ルイス・クラレット先生によるマスタークラスがサントリーホール・ブルーローズで開催されました。クラレット先生のマスタークラスは、1999年に初めてご登場頂いて以来、今回で5回目となります。今回も若き受講生に熱心な指導をして頂きました。

受講されたのは笹沼樹さん(桐朋学園大学 ソリスト・ディプロマコース在学)、藤原秀章さん(東京藝術大学在学)、黒川実咲さん(桐朋学園大学在学)の3名。みな、音楽大学に在籍中の若いチェロ奏者たちです。

最初に受講した笹沼さんは、バッハの無伴奏チェロ組曲から第5番のプレリュードを演奏し、その後クラレット先生からのアドバイス。音楽の作り方から左手の使い方まで、様々なアプローチからのアドバイスがあり、笹沼さんの音も様々に変化していきました。

続いての受講者は藤原秀章さん。新鋭のピアニストリード希亜奈さんと共に、ハイドンのチェロ協奏曲第2番第1楽章を堂々と演奏。クラレット先生は、やはり曲作りに関することと併せて、左手・右手の使い方など具体的なテクニックに関して、ユーモアを交えながらアドバイスされていました。

最後の受講生は「チェロの日」でゲスト演奏にも出演頂いている黒川実咲さん。R. シュトラウスのチェロ・ソナタを江沢茂敏さんのピアノと共に演奏。高い技巧が求められる大曲を堂々と披露していました。黒川さんのレッスンの中でも、クラレット先生はアーティキュレーションなど曲想に関することやボウイングなどテクニカルなことの両面を、ご自身の実演を交えながらアドバイスがあり、黒川さんは盛んに頷きながらアドバイスを実践していました。

日本チェロ協会にとって、今回で21回目のマスタークラス開催となりました。このようなイベントを通じて、若きチェリストたちがさらに活躍されるきっかけとなることを願っています。講師を務めて下さったルイス・クラレット先生、そして今回も素晴らしい通訳を務めて下さった藤本優子様には心からお礼申し上げます。以下、受講生によるレポートをご紹介します。

受講レポート

黒川実咲さん

今回、私はシュトラウスのチェロソナタの一楽章をみていただいたのですが、右手の使い方、重さや動かし方について、細かく教えてくださいました。

それから強弱、pの部分はどう歌うか。もっとpで柔らかく聞かせるところを作っていくように。自分自身pで弾いているつもりでも、全く思っていたようになっていませんでした。それからテンポ感について、ピアニストとの打ち合わせで決めることですが、テンポの指示が多い曲だということ。自分の中のテンポ感を本当にしっかりもって弾かなければいけないと感じました。本当にこの曲の基盤となることを教えてもらった気がしました。最初に向き合って一番理解していなければいけないところで、一番できていなければならないことで、歌うことや感覚だけでなく、もっと細かく緻密に組み立てることもとても大切なことだと、疎かにしては駄目でもっともっと考えなければならないと痛感しました。

先生の身体の使い方は素晴らしく、音を出して示してくださいる度に、無駄な力の一切ない音と動きに本当に、なんで!!!! どうなってるの!!!! と、思わず声に出したくなりました。本当に一つ一つの音がはっきりしていて、芯のしっかりした音で、自分もそう弾けるようになりたいと思いました。

最後に先生が、シュトラウスはこのチェロソナタを18歳で、その後にロマンスという曲を作曲しているのは知っているよね、まだ20歳になっていない青年がこれほどの素晴らしい曲を作ったなんて驚きだよ。と、話されました。いまの時期にこのタイミングで勉強してよかったなと感じました。あっという間に時間が経ってしまいましたが、とても内容の濃い時間で、先生の世界観がとても素敵でした。

このような機会を与えてくださった、クラレット先生、通訳をしてくださった方、日本チェロ協会及び関係者の皆様方に心から感謝しています。本当に有難うございました。

笹沼樹さん

今回のマスタークラスを受講し、バッハを演奏するにあたっての新しいアプローチの方法を得られたことが、私にとって大きな収穫であった。

フランス風前奏曲の様式である5番のプレリュードは、緩やかな前半部分とフーガに分けられる。

前半部では、くい込むような符点にすることとハ短調が決してリリカルなキャラクターではないことを再確認することでよりドラマティックになり、通奏低音が浮き出るようになることを学んだ。以前はこま切れにならないフレージングを目指していたが、横の流れを意識するあまり、テンポが揺れてしまっていた。先述の2点を踏まえると自然に拍を意識するようになり、それぞれの適

切な箇所できちんとフレーズを終わらせながらもくつきりとしたラインをつくっていくことができる。

フーガでは、提示部はそれまで以上に静かなものにするべきであったが、これらのような静の部分と、ゼクエンツになっているような動の部分の識別が求められた。オープンとクローズを自分自身でしっかり確認することで、弾き始めた瞬間から曲全体を見据えた演奏になるのである。

技術についても勉強になることが多くあったが、その中でも左手の使い方は私にとって大きな課題である。力まずにはっきりとした発音を可能にするために、指を落とすことではなく指を持ち上げることに着目した。運指だけでも音が鳴る、クラレット教授の手はまるでピアノを弾いているかのようにであり、それが弾力のある音色を実現させている。

ここまでまとめてみると、今回学んだことは「バッハの弾き方」だけでなく、そもそも音楽を芸術として表現するために必要であることであったことがわかる。力まないこと、単調にならないこと、メリハリのあるもの、などどうしても抽象的なものからその時々の問題を解決しようとしてしまうが、細かい綿密な約束事を理解し把握することこそがより良い演奏になり、いつか自分の理想の演奏とは何かというポジティブな音楽づくりにつながっていくのだろう。

藤原秀章さん

今回、受講生としてマスタークラスに参加させていただき、ありがとうございました。大変有意義で貴重な経験をさせていただきました。僕はこれまで、講習会に参加した経験も無いですし、他にも、あまり師事する先生以外にレッスンしていただくという経験が無かったので、受講が決まった時からとても楽しみにしていました。今回のマスタークラスで何よりも僕が一番印象に残ってい

るのが、クラレット先生の出すチェロの音です。ステージ上で間近で聞く先生の音は、これまでに一度も聞いたことが無いような、何とも言えない素晴らしい音でした。僕の今までのチェロに対する印象が変わるほどでした。世界にはこんな音を出す演奏家がいるのか…と少し気が遠くなりました。それだけでも大変刺激的なマスタークラスでしたが、レッスンの内容も新しい発見がたくさんありました。今回の受講曲だったハイドンの協奏曲2番は、大変演奏技術を要する曲で、何度か本番も経験しましたが、次から次へと難しいパッセージが待ち構えていていつも綱渡りしているような気分になってしまいます。しかし、曲自体は、とても華やかで、全く綱渡りのような音楽ではありません。ですから、もちろん堂々と、硬くならず演奏しなければならないのですが、それがとても難しいのがこの曲です。クラレット先生は、それを具体的な方法で教えてくださいました。前奏を受け継ぐ時の腕の回し方、ホール天井よりもっと高いところを意識して音を出すこと…。一番大切なのは、よくイメージをすることだったように思います。先生は、パッセージのキャラクターのイメージを、色々な表情で、ユーモアたっぷりに教えてくださいました。また、癖になってしまっていたスラーの時の右手のポルタートのような使い方について、やっではいけないというだけでなく、左手の語り方が足りないから右手に頼ってしまうのだと教えてくださいました。左手の指一本一本を独立させて、はっきりと動かす事で、表情をつける方法は、すぐには習得できないかもしれませんが、とても納得させられました。レッスンを通して、体全体から指まで、もっとリラックスさせて弾く必要があるように感じました。先生の弾く姿を見ていると、とても自然体で、あのいい音もそこから来ているのかなと感じました。今回のマスタークラスは僕にとってとても幸せな時間でした。クラレット先生、関係者の皆様に大変感謝しております。



左から藤本優子さん（通訳）、藤原秀章さん、ルイス・クラレット先生、黒川実咲さん、江沢茂敏さん、リード希亜奈さん、笹沼樹さん

山崎 伸子(R-049) Nobuko YAMAZAKI



1. 近況を教えてください

この4月から桐朋学園で室内楽のグループを沢山教えています。あと、小さな子も教え始めました。子供は面白いですね。

2. 改めてチェロを始めたきっかけを教えてください

小3の時に桐朋学園「子どものための音楽教室」の分室にピアノで入室したのですが、翌年チェロ教室が開

講する際ピアノが上手でない生徒にお声がかかった為です。

それまでチェロは見たこともなく、小学校でサン・サーンスの白鳥を聴いた位でした。何が幸いするか分かりませんね。

3. 山崎先生が一番ワクワクするときは、どんなときですか？

心に触れる演奏に出会ったり、共演者や聴衆と曲の感動を共有出来た時です。

4. 山崎先生が一番リラックス出来るのは、どんなときですか？

お風呂に入っているとき。特に温泉は良いですねえ。

5. チェロ以外に好きなことはありますか？

美味しい料理とお酒を頂きながら、親しい友人と音楽談義に花を咲かせることですかね。

6. 若いチェリスト（プロのチェリストを目指している

学生）に望むことはございますか？

昔の巨匠達の演奏をチェリストのみならず、他の楽器、声楽、室内楽、オーケストラ等々、色々な演奏を分からなくても良いので、沢山聴く事ですね。音楽とは何なのか、演奏するとは何なのかをおぼろげながらも見えて来たらしめたものです。その理想に向かって一生かけて精進していくことです。あと、音楽会に行つて生の演奏も沢山聴くこと！最近You Tubeのみで誰の演奏も興味なく聴いている子が多いのですが、これは演奏家として寂しいことです。

7. 今後のチェロ協会についてお伺いします。どのような活動に力を入れていきたいとお考えですか？

チェロ界の発展の為にも、全国の小さなチェリスト達の交流を広げて行きたいですね。

【演奏会情報】

チェロ・ソナタ・シリーズく全10回>

第8回 山崎伸子 チェロ・リサイタル

日時/11月28日(金) 19:00開演

会場/津田ホール

料金/一般¥4,000、学生¥2,000(全席指定)

出演者:山崎伸子(Vc)、小菅優(Pf)

問/津田ホールチケットセンター:03-5355-1299

コメント/Pf小菅さんとはこのシリーズの第5回で共演し2回目となります。前回とても素晴らしかったので今から楽しみにしています。

西谷 牧人(R-223) Makito NISHIYA

1. 近況や最近の活動を教えてください

東京交響楽団での演奏と藝大での教職がどちらも7年目に入りました。おそらく東響のチェロセクションは日本一若く、僕でも上から3番目。気分的にはまだまだひよっこですが、優秀な若手の皆さんがどんどん入団してきて、上からも下からも良い刺激をもらいながら日々弾いています。教える方はまだまだ試行錯誤の連続ですが、生徒さん達と一緒にどうしたらもっと良くなるのかを考え、その結果良い演奏が生まれた時には、演奏そのものとはまた違った大きな喜びがあります。

2. 改めて、チェロを始めたきっかけを教えてください

スズキメソッドの本部がある松本市で生まれたことです。

5歳の時に周りの子供達に触発されて教室を見学に行き、低音の暖かい音色と、座って弾くからお爺ちゃんになっても出来るという理由で最初からチェロを選んだそうです。

3. オーケストラでチェリストとして演奏する醍醐味は何ですか？

オーケストラで弾いていると、重要な(美味しい)メロディーがチェロに与えられていることが本当に多くて嬉しくなります。また、周りを支える伴奏の形でも、大切な和声やリズムを作っていることが多く、チェロパートがたくさん役割を担っていることにやりがいを感じています。それから、首席チェロパートのソロには本当に美しいものが多いです。先日もブラームスとリストのピアノ協奏曲第2番やシューマンのチェロ協奏曲のソロを弾く機会があり、素晴らしいソリストの方々(チェロ

はゲリンガスさん)とデュエットが出来る瞬間は夢のようなひと時でした。

4. 差し支えなければ、今後のようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください

自分らしい演奏や演奏活動をしていきたいと思っていて、それは果たしてどういうものなのかをいつも考えています。今はオーケストラ、室内楽、ソロをまんべんなく弾かせて頂いていますが、今後は自分が心から好きで共感する別のジャンルにも足を踏み入れてみたいと思っています。

【演奏会情報】

B→C バッハからコンテンポラリーへ 164 北村聡

日時/2014年9月16日(火) 19:00開演

会場/東京オペラシティ リサイタルホール

出演/北村聡(バンドネオン) 西谷牧人(チェロ)、他

料金/¥3000(全席自由)

問/東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

コメント/バンドネオンとチェロのための委嘱作品が2曲世界初演されます。バンドネオンとチェロの組み合わせはとても相性が良いと思っています。



横坂 源(R-401) Gen YOKOSAKA

1. 近況や最近の活動を教えてください

今年はリサイタル、室内楽を中心に演奏させていただいています

2. 最近出演されたコンサートの中で印象に残っているコンサートはありますか？

FMで共演させていただいた藤井一興さんとの演奏です。

3. 改めてチェロを始めたきっかけを教えてください

父親の関係で、家に音楽家が入り出していたのですが、その中でチェロのお兄さんが当時好きだったウルトラマンで飽きずに遊んで下さり、憧れて始めました。

4. 横坂さんが一番ワクワクするときは、どんなときですか？

気の合う共演者とのコンサートです。

5. 横坂さんが一番リラックス出来るのは、どんなときですか？

演奏者、作曲家、お客様、そしてホール全体の雰囲気がいしゅくりきて、宙を舞うように全身が軽くなる時間です。また、自然の中にいる時にリラックス出来ます。

6. チェロ以外に好きなことはありますか？

沢山あるので思いつくままに挙げると、散歩、お酒、クラシック映画、食べること、読書、球技のスポーツ、将棋、です。

7. お勧めのクラシック映画はありますか？

“コンドル”、“美しき我が人生”、“第三の男”、“自転車泥棒”、“マルタの鷹”、“望郷”等です。

8. 差し支えなければ、今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください

1900年代の古きよき時代のプレイヤー達のように、作曲家のメッセージを通して、聴いて下さる方々の心に触れることができれば、こんなに幸せな事はありません！

【演奏会情報】

気軽にクラシック2014

東響プレミアムコンサート

コンチェルトの共演

日時/2014年10月26日 (日) 15:00開演

会場/所沢市民文化センター ミューズ アークホール

料金/S席¥4,500、A席¥4,000、B席¥3,500、P席¥3,000

出演/横坂源(Vc)、梅田俊明(Cond)、東京交響楽団、他

間/ミューズチケットカウンター 04-2998-7777

コメント/最近では物、事柄が機能的に簡略化され世の中が便利になる一方で、長い時間をかけ大切に継承されてきた職人やその技が減り、人々と芸術の距離が少しずつ切り離されていくような寂しさを感じています。

このコンチェルトの持つ、『人の情感』を通して、生きるということ、優しさ、そして大きな愛を感じていただけることを強く願いながら、コンサートに望みたいと思います。



水野 由紀(S-066) Yuki MIZUNO



1. 近況や最近の活動を教えてください

最近ソロに室内楽、オーケストラのゲスト首席など、今年オーケストラとの共演もあります。昨年11月にはオクタヴィアレコードより、シューベルトアルペジオネソナタのセカンドアルバムを出させて頂きました。

2. アルバムの聴きどころを

教えてください

今回は難曲であるシューベルトのアルペジオネソナタに挑戦しました。この曲を録音するに辺り、躊躇もありましたがピアニストの干野さんのサポートもあり現時点での私のシューベルトを皆様に聴いて頂きたいです。

3. 改めて、チェロを始めたきっかけを教えてください

両親が音楽家ではないので、9歳から近所の音楽教室でチェロの音を聴いたのがきっかけです。

4. 水野さんが一番ワクワクするときは、どんなときですか？

食べるのが大好きなので、美味しいものを食べている瞬間です。

5. 一番好きな食べ物は何かですか？

お肉が好きです。食べる事に拘りが強いので、美味しいものを研究しています。

6. 水野さんが一番リラックス出来るのは、どんなときですか？

動物と戯れている時です。犬と猫をどちらも飼っておりませんが、私にとって家族のような存在です。将来は保護活動も積極的に行いたいです。

7. チェロ以外に好きなことはありますか？

食べる事と、スポーツです。

8. スポーツは何をされていますか？

スキーをしています。

9. 差し支えなければ、今後どのようなチェリストとして活躍していきたいか教えてください

アンサンブルをしている瞬間が、私が一番幸せに感じる瞬間なので室内楽やオーケストラなど幅広い演奏活動に対応できるチェリストになりたいです。

【演奏会情報】

古川展生 Produce スーパー・チェロ・アンサンブル

日時/2014年11月19日 (水) 19:00開演

会場/ヤマハホール

出演/古川展生、横坂源、辻本玲、門脇大樹、水野由紀、森山涼介(Vc)

料金/¥5,000 (全席指定)

間/ヤマハ銀座ビルインフォメーション 03-3572-3171

コメント/日本を代表する素晴らしいチェリストの皆様とご一緒出来るのが私自身も大変楽しみな公演です。チェロアンサンブルはチェロの醍醐味でありますし、今回は編成も曲調も様々でチェロ愛好家の皆様、是非いらしてくださいませ！

Concert Information

会員の出演・主催する演奏会などをご案内いたします

鎌ヶ谷フィルハーモニック管弦楽団 創立25周年記念 第24回定期演奏会

日時/2014年10月5日(日) 14:00開演
会場/白井市文化会館大ホール
入場料/無料(全席自由・親子鑑賞室有)
出演/小久保大輔(Cond)、丹羽道子(Vn独奏)
問合/カトウ 080-5455-4822
曲目/モーツァルト:劇音楽「劇場支配人」K.486 序曲、メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64、シベリウス:交響曲第2番 ニ長調 作品43

アルゼンチン・ナイト第2弾/Duo E-vita

日時/2014年10月10日(金) 19:15開演
会場/すみだトリフォニーホール 小ホール
入場料/¥4,000
出演/植草ひろみ(Vc)、鈴木美奈子(Pf)
問合/U1 プロジェクト 047-426-3147
コメント/ピアソラのみならず、ピアソラの無二の親友チェリストのホセ・ブラガート氏の知られざる名曲、またグアスタヴィーノなどアルゼンチンの風をお届けします。

尾高綾子 メゾ・ソプラノ リサイタル ～チェリスト倉田澄子をゲストに迎えて～

日時/2014年10月31日(金) 18:30開演
会場/王子ホール
入場料/¥4,500(全席自由)
出演/尾高綾子(M.Sop)、倉田澄子(Vc)、尾高惇忠(Pf)
問合/ソナーレ・アートオフィス 03-5754-3102

長谷川陽子&向山佳絵子 プロデュース チェロ・コレクション

～バッハへのオマージュ～ Vol.1
日時/2014年11月11日(火) 19:00開演
会場/Hakuju Hall
入場料/¥5,000(全席指定)
出演/長谷川陽子・向山佳絵子・横坂源・笹沼樹(Vc)、加藤昌則(Com/Pf)
問合/Hakuju Hall 03-5478-8867

古川展生 Produce スーパー・チェロ・アンサンブル

日時/2014年11月19日(水) 19:00開演
会場/ヤマハホール
入場料/¥5,000(全席指定)
出演/古川展生・横坂源・辻本玲・門脇大樹・水野由紀・森山涼介(Vc)
問合/ヤマハ銀座ビルインフォメーション 03-3572-3171

ハウス食品グループpresents 浜離宮ランチタイムコンサート vol.130 長谷川陽子 チェロ・リサイタル

日時/2014年11月27日(木) 11:30開演
会場/浜離宮朝日ホール
入場料/¥2,900(全席指定)
出演/長谷川陽子(Vc)、須関裕子(Pf)
問合/朝日ホール チケットセンター 03-3267-9990

藤沢にゆかりのある音楽家たち Vol.2

日時/2014年12月7日(日) 14:30開演
会場/湘南台文化センター 市民シアター
入場料/一般¥3,000、学生¥2,000(全席指定)
出演/堤剛(Vc)、須関裕子(Pf)
問合/公益財団法人みらい創造財団 芸術文化事業課 0466-28-1135
曲目/ブラームス:チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 Op.38、他

藤沢にゆかりのある音楽家たち Vol.3

日時/2015年2月21日(土) 14:30開演
会場/湘南台文化センター 市民シアター
入場料/一般¥3,000、学生¥2,000(全席指定)
出演/堤剛・倉田澄子・安田謙一郎・宮田大(Vc)
問合/公益財団法人みらい創造財団 芸術文化事業課 0466-28-1135
曲目/ヨンゲン:4本のチェロのための2つの小品、他

P.トルトゥリエ生誕100年、H.ベッカー生誕150年によせて

林裕 チェロリサイタル

日時/2014年11月5日(水) 19:00開演
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール
問合/電気文化会館チケットセンター 052-204-1133

◆
日時/2014年11月6日(木) 19:00開演

会場/ザ・フェニックスホール(大阪府)
問合/あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999

入場料/一般前売¥4,000、学生¥2,000(全席自由)

出演/林裕(Vc)、佐竹裕介(Pf)

コメント/今年生誕100年を迎えるP.トルトゥリエと、生誕150年を迎えるH.ベッカーの作品を取り上げます。難易度の高いトルトゥリエ作品 小ソナタ“ブセファル”(乗用馬)は、午年と生誕百年が重なったことに運命を感じます。チェロという楽器に精通した作曲家ならではの技術的華やかさや、音楽的歌声が魅力だといえます。

メンバーズ



松崎 松平 さん (R-077)

東海大学名誉教授(内科医師)、
日本生命科学振興会理事等

「チェロに生かされて」

Since 1997と小さく書かれた協会のロゴマークは、堤会長のお考えでデザイン公募と会員投票により選ばれ、会報の第2号から協会のシンボルマークとなっています。設立草創にこのシンボルが決められたことは、チェロ協会が視覚的にも見えるようで、その後歴史を重ねる上で大きな意味があったと思います。以来、私も好きなこのシンボルに惹かれて協会の諸行事に参加してきました。

私は大学病院に医師として勤め、診療、教育、研究、国内外での学術会議、病院長などなど、世間で言うお偉いさんの仕事を長年に亘り忙しく務めてきました。一方、大学オーケストラの部長教員という学生部員の相談、お目付け役を務めながら、チェロメンバーの一人として練習や演奏会にも参加してきました。この音楽活動から、学生たちの才能や素晴らしい人間性に接し、私の方が人間としての学ばされたことは少なくありません。深く音楽に接することで、気持ちは謙虚になり、心に深い安らぎや、時に大きな励ましを与えられます。最近の経験から、定年退職年齢後でも、70歳台になっても、練習の仕方と考え方次第でチェロ演奏の上達は可能だと思っています。今年は所謂後期高齢者となりましたが、厚労省の官制年齢定義に強く反発しながら、さらに上達するため楽しく頑張っています。

終わりに、このタイトルはもちろん堤剛会長の名著「チェロに生きる」(2002年出版)に肖りましたが、チェロを演奏する人には必読の内容の深い本だと改めて感じています。

第9回総会 開催報告

2014年7月5日(土)に「第9回総会」が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

開催日時：2014年7月5日(土) 16:00~17:30

会場：サントリーホール・リハーサル室

出席者：19名(敬称略)

(会長) 堤剛 (副会長) 中島顕、堀了介
(評議委員) 倉田澄子、河野文昭、斎藤建寛、
長谷川陽子、山崎伸子、石島栄一、尾崎勝吉
(会員) 赤石裕之、向後由美、松崎松平、三木隆二郎、
芳山朋史
(事務局) 飯田芳憲、八反田弘、渡邊亮、佃香菜子

議 題

1. 役員人事・人の動き
2. 2013年度活動内容・決算
3. 2014年度活動計画・予算
4. 企画・運営計画
 - 1) 第5回チェロの日
 - 2) ジュニア・チェロ・キャンプ
 - 3) 中期活動計画
 - 4) ホームページ リニューアル
5. 意見交換、他

◇2013年度活動内容

- ・評議委員会 2回開催(6月5日、2月9日)
- ・会報発行 2回発行(第40号:9月26日、第41号:3月31日)
- ・HP掲載状況 コンサート情報:24件
イベント・その他情報:9件
- ・チェロサロン開催(11月16日)
講師:斎藤建寛先生
於:サントリーホール・リハーサル室
参加者:24名(会員:17名、非会員:4名、スタッフ:3名)
- ・マスタークラス開催(11月20日)
講師:ジャン＝ギアン・ケラス先生
於:サントリーホール・ブルーローズ
来場者:163名(会員:56名、非会員:97名、その他:10名)
- ・第4回チェロの日開催(2月8日、9日)

於:サントリーホール・ブルーローズ

総来場者数:320名

チェリストの集い参加者:70名

・会員数:280名

(正会員:214名、学生会員:62名、賛助会員:4名)

◇2014年度活動計画

- ・評議委員会開催 2回(4月27日、秋予定)
- ・会報発行 2~3回発行予定(42号:8月29日、
43号~44号:秋~年度末予定)
- ・ホームページ リニューアル予定
- ・チェロサロン開催 1~2回
- ・マスタークラス 1~2回
- ・第5回チェロの日 2015年2月28日~3月1日

※予算につきましては、別紙をご参照ください。

◆役員人事

会 長 堤 剛
副 会 長 中島顕、堀了介
書 記 山崎伸子
評議委員 上村昇、荻田雅治、菊地知也、倉田澄子、
河野文昭、斎藤建寛、長谷川陽子、
児玉真、石島栄一、尾崎勝吉
監 事 藤井直、芳山朋史
事 務 局 飯田芳憲(事務局長)、
八反田弘(事務局次長)、
渡邊亮(企画制作)、
佃香菜子(専任スタッフ)



事務局からのお知らせ

評議委員 就任のご挨拶



©千葉広子

このたび日本チェロ協会の評議委員にご指名いただいた長谷川陽子です。今、日本のチェロ界は驚くほど層が厚くなっていると日々実感していますが、チェリスト特有のキャラクターでしょうか。チェロを弾く人たちは皆手に手を取り合い、楽器を片手に時間を忘れて語り、ともに音楽を楽しむ・・・そんな音楽の楽しみ方が多いように思います。

人と人をつなぎ、お互いの人生を豊かにするためのツールが音楽でありチェロである。それは私自身の理想でもあり、そんな豊かな時間を作るお手伝いをさせていただけたら、とても幸せに存じます。

日本のチェロ界の総本山である、日本チェロ協会の評議委員という大変責任あるお役目をいただき光栄に思うとともに、チェロ界の更なる発展のためにお役にたてることは何だろうか、と常に気持ちをしっかりと引き締めてまいりたいと思います。至らぬ点もあるかと思いますが、会員の皆さまと日本チェロ協会の様々なイベントでお会いして直接お話をさせていただけること心から楽しみにしておりますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

長谷川 陽子



この度日本チェロ協会評議委員に就任致しました、菊地知也です。6月に事務局長の飯田様とお会いし、今までの活動内容やこれからの可能性についてのお話を詳しく伺いました。今まで私は演奏と教育に携わって参りましたが、まだ他にも出来る事がある事を実感しております。残念ながら7月5日に行われた総会に出席出来なかったのですが、総会議事録を拝見し、チェロ協会の存在意義を、また今後の可能性を再確認致しました。今までも様々な活動を行っているのは承知しておりましたが、今後の活動促進案を拝見し、まだまだ活動の幅が広がるのではないかと期待しております。

今後は、私に何が出来るかを模索しながら協会の活動に参加していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

菊地 知也



この度は、日本チェロ協会の評議委員という大役を仰せつかり、光栄に存じます。

私は、約二年前にサントリーホールに異動となり、そこでチェロ協会に接する機会に恵まれました。

チェロ協会の活動を外側から拝見していて、事務局と会員の皆さんが一緒になって、楽しそうに活動しておられると感じていました。私自身、全くの門外漢で楽器の演奏もできませんが、クラシック音楽を聴くのは大好きで、特にチェロの落ち着いた音色のファンでもあります。先日の総会では、初出席でもあり緊張してしまっていたのですが、その場でもプロとアマチュアのチェリストの皆さんが垣根なく、和気藹々と活発に意見を出し合っておられたのがとても印象的でした。チェロ協会の素晴らしい雰囲気を肌で感じる事ができ、その一員となれることをうれしく思います。チェロを弾くことは出来ませんが、微力ながら皆さまのお役に立てるよう、頑張ってみますので、どうぞよろしくお願いいたします。

サントリーホール支配人 尾崎 勝吉



チェロ協会HP リニューアルオープン予定

今年10月、チェロ協会のHPがリニューアルオープン予定です。より多くの方々にチェロ協会の活動を知って頂けるよう、また新たに会員の皆さまをご紹介できるコーナーも設ける予定です。より簡単にコンサート情報を投稿できるページも導入予定ですので、ぜひご期待下さい！

コンサート情報大募集

会員が出演・主催するコンサート情報をお寄せください。

①公演名②日時（開演時間）③会場④出演者⑤料金⑥曲目等⑦問い合わせ先⑧コメントをお書き添えの上、メール、FAXでお送りください。下記URLのフォームからもご提供頂けます。

http://cello.day.cello-congress.com/?page_id=832

ご住所・メールアドレス変更についてのお願い

事務局からお送りするお便り・メールが住所・宛先不明で戻ってきてしまうことが度々ございます。ご住所を変更された場合は必ず事務局にご一報下さい。

編集後記

今回3名の方々に評議委員に加わって頂き、チェロ協会も新たな風が吹き込みました。事務局も心新たに活動に力を入れていく所存です。秋にはHPがリニューアルオープン、年度末には第5回チェロ日開催予定ですので、より充実した内容となるように皆さまのご協力も、どうぞよろしくお願いいたします。

日本チェロ協会会報（JCS NEWS）第42号 2014年8月29日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号 電話 03-3505-1991 FAX 03-3582-1310

発行人：堤 剛 編集：日本チェロ協会事務局 編集協力：リュウカンパニー